敵兵を掃蕩錢塘江中の

「南京十五日同盟」十一日時

**殘敵殲滅** 



もつと見られる らんがため、今回の命

是を明示した重大蘇明を競技し、 権を根轄し新興政権と提指する國一を整へるため、近く地方長官登議 ったので、この主旨を同民に徹底。自となる奠定である。

萬福輝らも軍法會議に附 集は銃殺

く血で血を洗っ恐怖時代金現出し 恐怖時代を

出す

う彼等の行動は全

ボンネ藏和

れてゐる、な怪窩腦麟、劉多をらも

## 重荷を卸した總督

强

なつた、おゝ燦として輝くこの大事實よ、われらの胸は言ひ知れぬ酸激に高鳴るのである。次に半島の代表者とも見るべき入々の喜務享受の熱望に報いるため義務教育を前提とする學制改革並に真に歴史的劃期的の一大英斷たる半島人の志願兵制度を實 施すること神的結合による內鉾一體の强力なスクラムを組んで熱狂的愛國の大旋風時代を現出した。この時にあたり南總督は 朝鮮同胞の國民的

も折今次麦那耶魅勃發するや朝鮮同胞には更に一層の國民的自覺と信念を強化せしめ、こゝに一大轉換期を招來するに至り全半島は南總督は着任以來、銳意內鮮一體を强調、皇國臣民の育成に向つて諸般の政策を進めた結果、漸次內鮮一體の質が專りつ ゝあつた、半島施政サ八ケ年、腰代總督を初め本府首腦部は勿論朝野は舉げて日韓併合の詔勅に從ひ明治 大帝の御項心に向つて逆進して來たが

に涙する半島同

年から赤坂星を陶茶器に含見を

國民として義務兵役制が最も 愈上上間兵制度が實施され

「京城日報で見ましたが、概を鮮志順兵制度の質施の報と同時 | |と十六日朝イの一番に京郷選兵分||特難貨商中野商店員・豪水機対(ご)

継貨店の店員金承燦君の



に抗戦を策し内民人塗炭の苦しみを察せ かるに國民政府は帝國の真意を解せず漫 "外東亞全局の和平を顧る所なし"仍つて

帝同政府は爾後國民政府を相手

經濟をの他各方面の發展進步著しく、大衆のものである。始政以來爰に二十有八年、

と共に、思想道徳の堅實を加へ、漸次內鮮一體の實

萬民衆の威激たるのみならず、實に一億同胞の歡喜そ

正に朝鮮の劃期的躍進である。而して此の大關門が

たる、質に歴史的大記念像であり、ま

こはやがて来るべき、朝鮮教で合の改正と共に、内鮮一位への大いて来るべき、朝鮮教で合の改正と共に、内鮮に以て、朝鮮にも志靡兵帯別をスイー

速かに質施すること」なり、

朝鮮に志願兵制度を施行すること」なつ、近に集中され、國家總動員の體制益々强化 一體の實を顯現せるものであつて、

志願兵制度

ける堂々中 閣議並に 十五日 午前、午後に は十一日の織前會競及び數次に亘る 大本瑩と政府の連絡會議において気

亘る

内相、翰長を訪問

つき重要臨議をなし同四十分散合

**廣田外相、獨** 大使ご思談

帝國の責任愈よ重し、 毫もかはる所なし、今や東亞 帝國不動の對友國是が確立されるに

鬼京砒酷」陸軍では十六日子前

時名内大臣室に将川陸相以下

登集し、先う核山陸相より

一時四十分幹去した

陸軍の態度

大使デイルクセン大使の来訪を米

構並に在支列國構命を尊重するの方針 人とす、元より帝國の支那の領土や、

大なる任務遂行のため一層の發奮を驚望し

謎に包まる

新

が遊撃隊組織一度駆したところかを服扱した、これは最近軍事當局 公理されざら遊聴隊組織 ば、蔣介石は十四日各省 正日回盟] 隣口よりの租 介石嚴禁 単に用っためこれらを 一分子が武器を取り 代り地方の治安を提

ar an 苦心研鑚の結晶として需要家各位の 東洋放新観を誘る弊所研究部が多年。 こ そ ! 予何愛用の程を。 伊然語に何難へー得る逸品です。 回 高級製圖用: 鉛 牽

十九日召集

日召集、二十日一日限り10日召集、二十日一日限り

とし内定した

清理 酒研

社會式株造釀鮮大

樂しからずや 雪ありて 新世界

敗殘兵を擊退

いてゐる

3工作に旧るか、各方面展がヨーロッパ各國に對 の危機を前に機科以下以ている。何れにせよ関連

果北方より心神線高級明日下後丘時半頃旅戦後兵

出可盟』添田部隊の一

班 統二十四年を南極し北世四十 何この晩郎で

焼死一負傷二である

来つた事を競見 直に

を加へて潰走せしめた 西方)に向って飛驒さ

B時放火環と欄でる放火の兵の半数は土匪で更に

一日醉しません 一夜晚共一 (2)

乗して東方及び北方に他 れを影響。 厳に叔六十の 本ったので、我〇〇部隊

四日午前七時頃約四百 なんでるた、 抜いて同



「昔別な」のたとへ某大

が後夏時期決定を戦く保留するにしたため、萬國博事務當局はこれ

【歳興】總學二百二十二名の威府 前九時から二班に分れ、1は高

三日に亘つて開く

咸南の校長智議

# あす初公判開かる

那祭場面無信里の合井命「十间度という残さに水源地は凍結一

被害干五百圓

酷戮は正月氣分も何度へやら零下【大邱】熱臓深大邱地方を襲つた

自る今時のラデオ

朝鮮殖產銀行

鏡一日

部川戦道官を十二ノ二 族 - 麦部川戦道官を十二ノ二 - 族 - 麦

毛皮大义

n

常に應す

京城英江通二番也ノヒ 神 希望者は直接不続の

永登浦皮草工場

一月にお求めの金庫は

正月金州と称され 終生好運に忠まれるも のとされて居ります。

京城本町二丁目 〒長(2)624·5415 振替京城二二番

店

京城・清津・「壌・釜山・廣」・泉・徳山・新京・春天

> 是 

商

ーカータ ロ グ

語

告に汲り特に登倒にて掲載す時特料金は前納の事情就職の問題十歳限名は一回毎に五十五號活学十五字暗一回五行一五號活学十五字暗一回五行一

上記は 主記は ・

山栗山田山

發光遞信局

近~解除

五世別立總會に常購二十六日報恩

**女給の死と滿洲國大官** 

白人に八十二人まで

發動機船火事 生活改善に新紀元 もので挑談四千回 機関手入口傍の石油礁に引火

の同水與海面薬城消却基在氏所有 郑朗江面七浦里三百米牌合就行中【大邱】十二日午後三時半頃班日

天晴れ貞女の譽れ

田來大馬力をかけて精査中で近日 模様で内核部長の査定に関しては

わが漁船

晝夜の間

水上に氣絶

よればオランダ果イント機像

られ、こはまる十三日午後五一家族で近親者は心質りを接責した

全身にひごい凍傷

方課で大鉞を加へらる

要求額は六百萬圓

出所後府内風山町三七三尻洋服店「五日起工式銀行の確定」

在所員等の必死の努用長の努力で去る十一日から直通

粉甕を包み、栗組貫と船で駈け、度を感じてゐたが、力貢文山戦後巻)の柳陽部から夔火、火に怒、開城を經由してゐたため非常に不

【大学】傑用監州郡武州面内城洞 | 萬坪、三十萬立坪の火地立工事は

マヨネーズ

お正月金庫を

是非買って 吉運と共に

筌へませう!

朝鮮為影響

熊平チエーン

千代に八千代に

人妻殺し犯

「淅州」 旣報、表る七日午前四時

天氣豫報行

致度金属に御座候間何卒倍舊の御愛顧 質を舉げ競後の大使命達成に一層努力

**鸭屋醸造株式會社** 

京

**城** 

奉

天

A 州願侯 **跋している。** り全員製力

り以て鮮滿一如産業報國の

致益々堅實なる事業の發

本年は弊社も更に充實せる新陣容に依

引立に對して

、謹而有難く御禍申上候

春に際し大方諸彦の湾甚なる簡厚情御

**些戰斗歲** 

皇軍の往く處連戰連提

き國運愈々隆々躍進の新

際して

全・市北県の国 東南北地の風

北州の風

で支那、涼洲、朝鮮は大陸高温度に掩はれ一帯に風雨く上天十六日朝の天氣機況。 糾底配隆は引種言西高東後

皮廣泌尿花柳病

國境の街を彩つた

五日目取組(鸝)

膀胱カタル

冶して置かめて命に關る

するト 鷹 

中計修理職工菜集 中計修理職工菜集 中於大學議院了新等者性與監導 中於大學議院了新等者性與監導 有人人。 一

文部省推

病外科學

別線第九

性 女 9 捨て、おかれぬ

内服薬や普通の坐薬では到底届かぬ病でへ 急性や再發の子宮 内膜炎が多い月です

哈之能管下と一貫に云ってミュ | 田本名帝大病院婦人科使用のワセ | 服に毎日プラシをかける平和も丁 を食べる感染駅から11世を稼ぎま「野は一生窓がません」 ねでする 棕褐にワモトーの球に夢ら悪はないのです。萬 変質年扱りです、ワモトン球のお に扱いた外用楽の事も今では話のトン球に

顎の星のひかり の下に 思く・

が、要似に怠りほない、忠次は あないこと顔である

が不足である。

部籍つてるる強かに時間に、文

強ったとは思へない、それに忠 別からに草津峠といつた。

その特手前へ。配方が早くも親 はない。上州からは雄峠といひ

今振業ででは不人情の極いであ

忠次は姿を追ってくれるのを、

と、云って、此方からっただり

ここは上州野婆那のうちで信州

れを忠矢は十間はかり距れて見て

風か、火を招り、煙草を出し、エ

大戸の關(mi)

長谷川

岩田專太原畵

のが固定を出たことは既に疑られ

2限をむけ、一人々々を与れした。 2人七人の旅会の男はかりの一祖

良い味にかけて心るもち、

あがり、撃をかけた、 蔵、友五郎、伊八かすツくと起ち

「おう複分だら お好し、よ」

ふっ 類内や機関 内服製等の一時 本 を病状ですから、昔からやって れが子宮所期の病氣熱、爛れから

「親分が來た。みんだ親分だ親分

恋も六人が態だちで忠次の周囲

根本から治さなければ輸入病につ く内部の病散病熱糊れ、脈解やを

さものの病肌は無くならないもの

「利分ですか」

てソクしい気がしたり、時々ド 標に願から下は発えのない総合え 寒さがお腹の花道段の場合かの 瘦せ細る體が 三谷や十子

内腿の

一家の、満五郎、伊八、友五郎

名にも怒つたが、その他に困つ 雅んでもわえ奴辱 たと、 忠大は 異松、安五郎、それに文献まで 忠実の先を歩いてゐるのは國定 思はず知らど撃を出しかけたが

「叱られるのは判ってゐますが殺が」と苦い類をしてみせた。文談が 「何だつてこんた虞へ來た」 へ引起し、日々に挨拶する、その

なく客色が衰へてヒステリーとな

ロリとした下り物がして頭がガン

是等の病験その物が苦縮のみで

始めて産肴を

統なおよぞ女としては一番つらい ガン痛み、逆上で限が復むと云ふ

がボッカリ蝦かく下り物の気持感と思び申上げます めつきり寒こが甘して参りまし 御社益々御監員の非確をら海 強く喜い 佐山せき子

始めて利つた事でそれまで色々や

つた事は一時後きでした (略) 腰

と知つたのはワセトン朝を使って

冷える因を治さなければ駄目だ

たハリン療法までも美雄に「明らくなり気分も大ছよく夫の浄一事、それに護く精動後五年初めて | ザラリと痒々さへする冬を廻へよ | 臓を申し上げけす。

水い間苦しかました病気全快の

尿道は雨樋ではない。治療薬を流し通す丈け

淋菌の弱點に喰ひ入って

の爲めに存むお茶代りの前準度度 五年此方の淋毒内が後で、毎冬そ した、どうでせうそれがのんびり 就の代償だけでも与えざり致しま一つは若くなつたと来ばれて職しさ の内肢から下腹へさしこむ痛みも ら朝に数をよせて前を喰ひ縛る数 で、日かた夜もすが に毎日疾動で御座います。厚くお

つり痛み んな頭がなれどこそ 人様にのんびり御袋

難誌でが人病になると容色が衰へ も知らず職みもなくなりまして三 球を歩いて頂き (略) 今では冷え と心を打たれ (略) 早速ワセトン

た事で、 たあるこ 風に無い しかつたの が無でなく、 に見捨てられるの 山邊つる子

米村病院長 野學博士 木美容の衰へる原因

要が引用り続けと云ふ歌た脈かと、普通とは違ふ自管下が病機に婦人は甌の芯が絶いとか下腿が悪つて重いとか、下骨が悪つて重いとか、下 如果もよく特に女性ホルモンとサイタミンAD療法か上手 あるから親がついたら正く手皆をする事り捨てゝおくと言 c夫婦間に繋が出来るo ワセトノ球は私の病院で使ぶが

近る苦しめられる。結局優れた局所表で自他に方法はない一時的な方法では、内部に原因まで治らないから、何日 に應用されてゐるのは婚人樂として上頭である。

ボが一番脱心ないです。

明されたものですから、 沿け工合

ワセトン球は特別研究の結果酸

素人でも治療の出來る帝大病院婦人科使用藥「乗っないのできゃくないのと 無かつかない程でした(略)土類 になり、色に黒くなく駅な樂の臭 無行がようしいので毎日使ふよう 掘い戦戦日来るまでになったのは 熊の学院の旅かにも大便よく、そ 事ですつかりてんてこ舞で御題い にほうついた前じ薬の事と後始末 金く御楽の御歌(略)便ひますと れにつれてあれ程ひどかつた冷 れて来る赤人場の座層やおしめの た耶御指摘下さいませる 「御典が上思ってゐたのに、下班 ワセトン球にこしけばカりを治 - ハー (失禮致しまし)り物が後が絶え頭色さべよくなり なのも続しく存じます ンをお教へして最高々

原にねつて何も知らね夫からむら かと説が、一〇白粉を分

るといふ博士の肥事を拜見しハッ んとしてゐられませる。不園婦人 心が他所へ移るのをどうして安の れる始末でした。女ですもの夫の

所まれ事と母じますものと概じさ | ワセトン球の事は前から聞いて居 にあれるこれも打容れ、近頃は生 の婉婉の事も由上げず、本當に相しうとは夢にも思ひませんでした。 見て招々と有難く永年の黄色の下 ましたが無く汚れて煩れる普通の 坐壊と思ってゐましたのに使って

様な事が進女の私にはとても心即

何れ程大切かれてと知るのが人病

光り第一に原因たる子宮病の手當 出來ます。都下の異常も治しとの

以上の例を見て婦人精、治療の

下肢の冷慰が難しくなりまうから の困難や整下の不快度能々下腹船

「猫でを取り、神経を利けて安眠か 悪臭をとりひきつる筋を解くして 子宮に投み込んで、疾熱病毒験れ

〇西鮮

医多甲烷 中田谷田谷

送上からヒステリーが充し月級上

此頃になりますと、頤楠散堂、一が説に気持よく溶けた雲は残らず

らなかったが、現在では直接に乗

判ってゐるが失敗の多くあるのも を一宮に届かせるのが一番よいと

る政党要だからで、各大圏病院婦 効くのは病熱病物類れを芯から取

ます。奥女にも安心して使べるの

Н

群山 日 木消元日

「酸明要だからです」

時的なものとは核段の相違があり

で、原内極の引用解みに大見よく

ン群が冷之症を初め帶下、下腹痛! 便秘等も自然治る事は内服薬の

一選新しく一番よう効くロセト

**眩暈、逆上、ヒステリー** 

**两多而航—神戸寄**牆

日鎮南部 日仁川三百

服み腰を暖めるより他に方法で知 ①原因が判らなか。 た昔に前後を (略) おり物がして右下腹が飛む

處女の下り物

毎日笑顔で でしたが、毎にも打路けられて放 推込菜の場句の事に申上げ度く 冷えて月經(41]月三月に一度で赤 無い地が出ました思んで使った 要も作れず頂が事く願いこても (略) 難にも慰

出る程薄い粘膜であるから中で松 唇が一体残つてるても関れ間下が 局所要で、ともかく子宮内部に織

黒くない流れ出ない

人知れずに 誰れでも出來る

> 配河原商店へ御申込み下さい。 女性の新生理国を被めば婦人病の

仁石石

大連10月

ひますが、なんと云つても

人欒(内服準や聞い質め玉)と述

婚人病大家醫學與士木村仁先生青

子です。御楽しむなく至りて簡単なので息者に著 よく萬春役院 時代ではなく、今では理想的なら 汚れ痒くなつて状がつた婦人葉の に致し度い。又衣物や肩部か無く セトン棚がある。 私の病院で多数 々が残る様なものは絶針使はの様

**常に嬉しく存**がつたものだが製の進步が此處ま で来たものかと鮫服の他ない。 んで使き必要と云へば思くてい 心配かなく、変人の紙がご奏臭言 の患者に使って見た結果は大規と く、自宅で使はせて見ても少しの 一発朝までに残らず中へ吸ひ込まり ひに織った婦人薬で、夜分入れま と云ふ女の方にひつたりあつたが て効いて参りまする用能は一日 っと八分ですつかり道るなくとけ

回螺旋なら二日に1回で充分です 薬がしみ込んで 芯を治す作用

して借下版みがまして来ますし中 で将けぬものや全く浴けぬ間い玉 「異物と云つて中を刺媒して之れ」 たり痒くなって西部の爛れが地 入れて流れ出るものは局部が開

めに帯下が出る程素かい協つが最 総府一條中に残つてゐてもその為 帯下や振みの原因となります。 の時はハガキに何日分入用と左記 球と云へけわかります。 萬一品切 院用首四十四日分十三回もお題人

糖代理后食料的 原商店 東京山芝西通新町十三番地 据看采京三五〇一十

「大村」 第二十二 単統 7日 単元 7日 1月 7日 1日 7日 1月 7日 1日 7日 1月 7日 九 元山石田 塔东三日 海鄉 18日 第四十三日 海鄉 18日 海鄉 18日 海鄉 18日 海鄉 18日 東北 18日 東東東 18日 東東東 18日 東東東 18日 東東 

館

花浪

(元山ヨリ名古 単直新) (元山ヨリ名古 単直新) (東山大日

新子 (休赦中) 本語・荷島行 (休赦中) 本語・荷島行 (休赦中)

**参山陽門】神戸寄港** 日朝京浦 日仁川八月 日 韓山元日 木浦 日 金山「枫冬」具時!三角寄掘 縣區補完百七川三日 **>== 場劇城京** | |

京東 長院病原

55六人の身内を違り過し、われ 651

立体よってゐる忠次は、不便な

一けど、関定へ離れといふのは止し

て下さいったあ、みんだ、さうだ

的時を越えて信州へ乗込まう、

とも知らず先を急ぐ六人組いた

育に頭を下げた。 忠夫は、

五人に口を揃へていふ代り、一

「いけわえ お前述を連れて行つ

何も俺は國定にお

にも知らずにお出でなさるぜられえて、態とうしろから親分に何

お出掛けたすつたに違え

衛五郎が前へ乗出し、

忠夫
いそれを聞くと、
舌打がし

「何だとの 荷五 お前おれに理論 「親分 どういふ調でいけれえん

六人組にゆうべ忠大

撃かよく四方へ響く、佐奥松が一山路だけに、別しては噴だけに

「もうお田掛けたすったらうかし

おい、かんな、志に嬉しいが、ど んとき、あんな事をいやあしわえ、

うも連れてにゆかれれえから踏つ

あたらしい。さう云へば、ゆうべ が概生の角壁へ強ったのを知って

ういる語言連れて行つて下さられ

こうじやわえんですると

えのか一調が知りてえんです。

「郷に開かせたら、贈るから

「わえ文献さん、ここらでお待ち

「次第によってしぬります」

次第によっては題ら

街五郎か先立ちにたつている文

た後の器をいつて関かしたら得心

一それちやあ、こしらて持たちの

大人が思ひ思ひに腕を卸っ、雌一のませんです。

きて国定へ脳る泉のものは一人も

いぜ、人が通っといけわえやし あんまり明るくなられえ中がい

「さらです。女母のある者は水盃

は耐樋に非ず生きてゐる。と云ふ實際を眼目果發明されたブラオン銀ケンゴールは、尿道に に惱むのは、雨極式治療法をやつた證據であ 過飲過勞の後再發に再發を重ね、慢性の病苦 所築を苦痛を忍んで使つても、時候の變り目 緑は本剤の新發明薬素に繋がるばかりである 易に出來然も攝護腺副睾丸精製炎迄安全に發 済む。それでゐて用法は全く安全、誰にも簡 息部迄治療するので、治療日敷が極く短かく は一つもない。各種治療で効なき後の顧みの 慢性の原因菌を殺し盡す事は容易である。 とした新築であるから勿論殺菌力は頗る强く 者を實驗器として深い學識から苦心研究の結 る。東京吉原遊鄭吉原病院長として永く名聲 では淋病は治らぬ。内服薬を永く服んだり 防する。ここ迄完備した治淋剤は本剤の他に れ計りではない。淋菌の毒素で爛れ腫れ痛む を知られた佐藤菜先生が、無数の悪性淋病患 然も上部から奥に浸み抜ける特長があるので そ

かいてケンコール二郎で治院する。それなける性もを知る先づケンコール一郎で治療し

Cさい。品切レノ時へ直接罅代瑪店(軽人用(三)熱)の別あり。飼育文には炯閉記の別あり。飼育文には炯閉記の子用(ケンゴール一號)

東京市芝區運新町十三

合名會肚河原 商店 曹超三 (一次) [基 級材東京三五〇

性として實験者は外閣に並及んである。

二段殺菌の方法

行動の方は乾隆を節の難く歳で再移せね治療

数々光りを歌へ影響せずにはあられない。 称く影響さは、治然優が致つて安く勝む事で でよい。腰や痛みの止まり方尿が早く綺麗に

使用上の特長

同處限別にも大統監がある。上部の淋漓はと 知つてゐるから同所原を使は血醫者はないが

内服薬で淋病が治らぬのは誰よりも響者が

二段的に殺菌する發明

かく慢性の原因となる層い臭に唇る種間な

**晋及藥** 

一圓九十錢

れでは批病の治られのも道理である。 が国が殺菌出來ないのが致命動であつた。 これ、 
ヨケャロ

利低廉な本品を設置致しました。埋つて治い本郷の特貨効を一層徹底させる目的で便併所成期期決の尖端治療罰として際度の高

時用 治療の輕験なき人にも容易 一回〇・五万萬〇・七瓦

微防

一回一分間でよし

を使用すれば安全に目的を練す。不真接觸後十数時間超過しても本期一数

専門家各位の御一頭を乞ふ

ケンゴールは研究院ですから局所保には不品かっぱールは研究院でありません。毎買求めに除っておりません。毎買求めに除っては「おり」となっていません。毎買求めに除っている。

関三 関二 国一 関日三 日北十一日七十 6-50 2-35 んやち健子ツ戸江 1 8-65 3-45 12-00 造 酒 手 平 2 8-05 3-45 12-00 造 酒 手 平 2 9-20 5-00 1-15 中 の 世 の 頃 4 降高・二線田広ば27所生コヤキ・一條4頃(・一族4頃(1) 第十生夢小城廿常末(で前生明井)上経郷泉(4)両主子を 第十生夢小城廿常末(で前生明井)上経郷泉(4)両主子を

野口商會

十七四八十個

() 五人(約五十七日量)

全国製店にて販賣す

〇五人(約17千五日重) 五五人(約十七日量)

日東文藥合名、土製品

影响汽船出机 

新田 (東京 ) (東re ) ( 展施设率 一月十七日より 

七日韓連浦 日大東九日 近年 前第4 (林映中) 近年 前第4 (林映中) 経行 明二 (林映中) 北京 (林映中) 北京 (林映中) 北京 (林映中) 大印度 - 日本 (林映中) 第1 (林映中) 第1 (林映中) 第2 (林映中) 第2 (林映中) 第4 (林映中)

0 %

横井は、仰山な撃を立て 長て、何やらさとやいたの もう【べん云ヘッ】

兩軍機密あり

午後寄時五分(中) 停曲

子供をお持ちの方へ

辞山出帆 代理店 群山郡運食社 大 海 丸 1月七 日 大 海 丸 1月七 日

源田年月日 · 昭和士二年十月四 坂 田 地 『辣餅 安 博場所 『漢城餅行南大門安吉 安 博 地 『辣餅

宛名人 東京電銀株式会計館 名人 東京電銀株式会計 曹 光 云

朝鲜汽船出机废告

寅年に因んだ 子供の時間

虎のお話二つ

|土時門 | 節後一時 京城 支店 大阪商船株式會社

の下、地間に に、「水」を が、その上にピタミン野、(戦略ない)を を が、その上にピタミン野、(戦略ない)を が、ため、(戦略ない)を が、(地略ない)を が、(地をない)を が、(

國兩區權本日市東東

を記し郵券五錢對入御申越次第送呈

京城府近金町三丁目水梁町通り 建



同七時四〇分(思)精训 班 (米) 图

週間情報

10分(京)朝の

七日(月



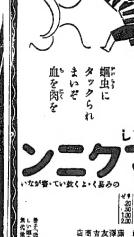












※ 日英米佛諾·特許



\*

でいる人選が寒中も慢が暖かいと云つてはせるものに二個以上の郷堂を避けるから、寒りのはいる物がすぶされるのであるが、それのはい食物がすぶされるのであるが、それない食物がすぶされるのであるが、それない食物がすぶされるのであるが、それない食物がすぶされるのであるが、それない食物がすがと云つて 不足すれば身體の活力が弱る。 

間が温気 引かぬ護身法

のと同様である。つて、樹木が家の外 供は風の子と云ふ の日常りの良い處でないと青たながが適して居る意の自然の欲求です低が發育するのに内で縮こまる 心の通り、家の中よりも戸外で遊

ルシウムを附着して母さてビタミンDが生成されば 

抵抗力が弱くなつて風が光を纏られる都合の住民分であればそれだけ変 一般に概定してあるものを選むがよい。 はに概定してあるものを選が違ふので、中にはもある。だから附神を削ぶる場合にはどがある。だから附神を削ぶる場合にはどがかれる。 瞬ち時光のではられる。 がら 附神を削ぶる場合にはどいかを削ぶる場合にはどいかない。